

バイオマスとは？

再生が可能な生物由来の有機性資源で、石油や石炭などの化石資源を除いたものをいいます。

北海道は農林水産業が盛んであり、多種・多様なバイオマスが豊富に賦存しています。

バイオマスの種類

廃棄物系バイオマス	家畜ふん尿 有機性汚泥(ビートから砂糖を製造する過程で発生するライムケーキを含む。) 下水汚泥 黒液 し尿等 食品廃棄物 紙類・紙くず 木くず
未利用バイオマス	農作物非食用部(稲わら、もみ殻、麦かん) 林地残材

バイオマスの特徴

石油・石炭などの化石燃料や鉱物資源は再生が不可能であるのに対し、バイオマスは動植物に由来する有機物であるため、再生が可能な資源です。

バイオマスを利用することにより、大気に放出されるCO₂は、もともと大気中に存在したCO₂を植物が光合成により吸収したものです。そのため、利活用を進めても、総体的なCO₂の量に変化は生じません。(これを「カーボンニュートラル」といいます。)

化石燃料の代替としてバイオマスを利用すると、地球温暖化の原因のひとつであるCO₂の発生が抑制されます。

これまで有効活用されず廃棄されていたバイオマスを有効活用することは、廃棄物の発生抑制につながります。